

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 江別南幌地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本地区は、北海道江別市、南幌町に位置し、周田を千歳川（直轄区間）・夕張川（直轄区間）及び旧夕張川（直轄区間）に囲まれた平坦な地形の農業地帯であり、水稻を中心に野菜類を加えた営農が営まれている。

本地区の排水施設は、国営江別太土地改良事業（S44～S46）等により整備されたが、施設の老朽化が著しく、また、土地利用の変化に伴う泥炭土壌の乾燥収縮による耕地面の沈下及び排水流出量の増加により、排水機能の低下・排水能力の不足が生じている。このため、農地の湛水被害の発生や維持管理費が増高するなど、安定的な営農の支障となっている。

本事業により排水機及び排水路の改修と効率的な排水系統再編を行うことにより農地の湛水被害を解消し、地域農業の振興と食料生産力の強化を図るものである。

◆受益面積 3, 100ha

◆主要工事計画 排水機（改修）、排水路（改修）

2. 地域の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

◎江別市は、石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。一方、災害のほとんどが石狩川を始めとする河川の氾濫による。このような条件にある地域の自然環境は、豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組みることが課題である。

◎南幌町は、千歳川、夕張川、旧夕張川に囲まれて、標高5.5～17.0m平坦な地勢にあり、長雨や集中豪雨により被害を受けることもある。

自然生物は、土地の大半が水田であり、河川と防風林に囲まれた水田の二次自然環境に生息する生物種が多い。また、水田と防風林によって構成されている豊かな環境の充実も課題となっている。

【江別市・南幌町田園環境整備マスタープランより引用】

3. 事業における環境との調和への配慮方針

◆環境保全の基本的考え方

地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、本事業における施設改修にあたっては、自然環境や生態系への影響を最小限とする工法を採用するなど、地域に生息・生育する動植物の保全及び水と緑のネットワーク形成に配慮し自然環境への配慮を図る。

◆配慮の内容

◎生態系への配慮

①排水路における水辺環境の保全

排水路法面の法留工に自然繊維シートを採用し、法面や河岸における在来植生の早期回復を促すとともに、排水路底面を土水路とし、河道内についても植生の早期回復を促し、植物や魚類等の生息・生育環境の保全を行うことで、水辺環境への配慮を図る。

②排水機場周辺における水辺・緑地環境の保全

排水機場の改修に際し、湿地環境や緑地環境の改変影響が最小となるよう水路及び工事用道路等の配置を設定する。

③工事中の濁水流出防止

排水路及び排水本川である千歳川に生息する魚類等に配慮するため、濁水防止施設を設置し、濁水の流出を抑制することで現状の水質を維持する。

◎景観的配慮

①地域景観と調和した排水機場

排水機場の設計にあたっては、周辺景観との調和に配慮した色彩を検討する（外壁、屋根、付帯機器類）。